

事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

事務事業名	水道メーター交換業務事業			事業コード	1228
所属コード	903000	課等名	上下水道局 給排水課	係名	サービス係
課長名	高橋敏晴	担当者名	栗谷川克寛	内線番号	6134
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 公の施設	<input type="checkbox"/> 大規模公共事業	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 内部管理

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード	5
	基本事業	安定給水の確保	コード	1
予算費目名	水道事業会計 01 款 01 項 40 目 水道メーター交換事業 (016-10)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 单年度	<input checked="" type="checkbox"/> 单年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度 昭和 33 年度
根拠法令等	計量法			

(2) 事務事業の概要

計量法に基づき検定有効期限（8 年）の満了する水道メーターの計画交換を行う。また、検針部門からの故障等の報告を受け交換を行う。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

計量法に定められた有効期限（8 年）を迎える水道メーターを交換する。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。（3）からどう変化したか。

2 事務事業の実施状況（Do）

(1) 対象（誰が、何が対象か）

給水装置に設置されている水道メーター設置箇所

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 給水装置に設置されている水道メーター設置箇所	箇所	128,754	130,163	130,163	130,910	130,910
B 水道メーター異常(故障等)の発生箇所	箇所	93	198	93	43	43

C						
---	--	--	--	--	--	--

(3) 24年度に実施した主な活動・手順

・水道メーター検定満期交換

- ①有効期限（8年）を迎える箇所のリスト作成
- ②水道メーター交換個数の確認（口径別・機種別）
- ③交換業務委託（単価契約）の設計図書作成、発注及び受注者の決定
- ④交換日報確認、上下水道局電算システムへの交換情報入力
- ⑤完成確認及び業務委託費の支払

・水道メーター異常（故障等）交換

- ①現地調査
- ②交換作業（直営・業者）

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	22年度 実績	23年度 実績	24年度 計画	24年度 実績	27年度 目標値
A 有効期限（8年）を迎える水道メーターを交換した箇所	箇所	11,992	13,843	13,848	13,101	15,361
B						
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

- ①計量法の規定により、有効期限（8年）を迎える水道メーターの検定満期交換を行うもの。
- ②検針部門等からの水道メーター故障等の報告を受け新規の水道メーターに交換を行うもの。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	22年度 実績	23年度 実績	24年度 計画	24年度 実績	26年度 目標値
A 給水装置に設置されている水道メーター設置箇所のうち有効期限（8年）を迎える水道メーターを交換した箇所の割合率（（交換箇所／設置箇所）×100）	□上げる □下げる ■維持	%	9.31	10.64	10.57	10.00	11.23
B 給水装置に設置されている水道メーター設置箇所のうち水道メーター異常（故障等）が発生し交換した箇所の割合率（（交換箇所／設置箇所）×100）	□上げる ■下げる □維持	%	0.07	0.15	0.07	0.03	0.03
C	□上げる □下げる □維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	22年度実績	23年度実績	24年度計画	24年度実績
事業費	①	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	0	0	0	0
	⑤その他()	千円	45,968	53,764	53,141	50,683
	A 小計 ①～⑤	千円	45,968	53,764	53,141	50,683
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	1,650	1,650	1,650	1,650
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	6,600	6,600	6,600	6,600
計	トータルコスト A+B	千円	54,218	62,014	59,741	57,283
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

計量法の規定を遵守して水道メーターを適正に交換することにより、安全でおいしい水を安定的に供給できる。

② 市の関与の妥当性

法定事務である

③ 対象の妥当性

法定事務である

④ 廃止・休止の影響

ライフラインのひとつであり、廃止・休止することはできない。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

成果の向上余地がある

水道メーターの購入時期の見直しや検定満期交換をより計画的で効率的に行う必要がある。

(3) 公公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

公平である。

(4) 効率性評価

市内の対象箇所の交換業務を一括で発注するとともに適正な基準で設計を行っていることから、これ以上の効率性の向上は困難である。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

交換業務の受託者へ適正な指導をすることなどで、より迅速かつ正確な交換業務とすることが可能となる。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

受託者の協力及び連携が必要である。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

お客様が支払う正確な料金を算定するため、水道メーターの適正な設置は必須であり、定期的な検定満期交換のほかに、異常があるメーターについても迅速に交換を行った。

今後、透明性や経済性の観点から、より効果的に事務事業が遂行できるように、契約方法等の改革改善について検討を進める。